

◎会計間の収支ギャップ調整の仕組み

1. 会計

区分	一般会計(繰出前)		特別会計(繰入前)	
歳入	249億2,805万円	+3.3%	146億2,266万円	+2.0%
歳出	233億7,125万円	△2.7%	173億325万円	+1.7%
財源不足額	+15億5,680万円		26億8,059万円	

※注:財源不足額の+は、黒字。増減率は、前年度当初要求時比。

2. 特別会計繰入金要求状況(一般会計による補てん必要額)

(単位:千円)

会計名	令和2年度 要求額	令和元年度 当初予算額	比較	増減率 (%)
国民健康保険事業	576,159	557,315	18,844	3.4
公共下水道事業	353,573	399,557	△45,984	△11.5
農業集落排水事業	51,727	48,834	2,893	5.9
介護保険事業	856,924	735,205	121,719	16.6
障がい児支援サービス事業	38,245	23,489	14,756	62.8
後期高齢者医療事業	792,363	778,232	14,131	1.8
介護サービス事業	1,038	171	867	507.0
工業団地拡張事業	10,557	19,698	△9,141	△46.4
合計	2,680,586	2,562,501	118,085	4.6

◎今後の予算編成作業

予算要求段階での財源不足額は、総額11億2,379万円です。要求内容を精査し、事業効果・緊急性などを勘案した事業の厳選等によって歳出予算を削減するとともに、歳入を確保して、財源不足額の解消に最大限努力します。

なお、令和2年度政府予算案が未定のため、予算要求はおおむね現行制度に基づくものです。最新情報の収集に努め、今後の予算編成過程で弾力的に対応します。

また、平成29年度から計画期間となっている、当市の最上位計画「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」に掲げる戦略に沿って展開する目標の実現に向け、具体的に推進していく施策に関連する事業については優先的に財源を配分し、その実効性を担保します。

【第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランにおける5つの戦略】

- 戦略1 若い世代の希望の実現「若者・子育て世代の定住環境の創出」
- 戦略2 教育環境の向上「まちづくりを担う人づくり」
- 戦略3 地域活性化「まちの活性化と認知度向上」
- 戦略4 地域力の向上「安全・安心で住みよい環境づくり」
- 戦略5 持続可能な行財政運営「将来につながる基盤づくり」

